

9 収入状況について（税込み）

(1) 給水収益の収入状況

給水収益現年度分の収入率は水道事業が98.2%、鶴形簡易水道事業が98.4%となっている。前年度と比較してみると、水道事業は0.1ポイント、鶴形簡易水道事業は1.3ポイントそれぞれ向上している。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は6,980,366円で、前年度より179,556円増加している。また、不納欠損処分後の調定額20,822,620円に対する収入率は、前年度と同じ66.5%となっている。ここ数年、滞納繰越分の未収金額は減少してきているが、未だ600万円以上の未収金額となっている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0%で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次の表のとおりである。

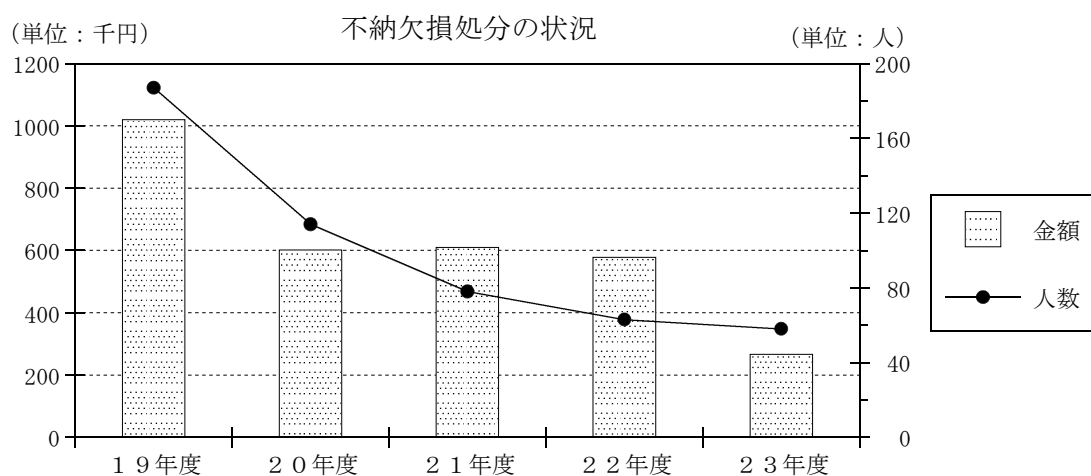
（単位：円、％）

区	分	調定額	不納欠損額	差引調定額	収入額	未収入額	収入率	
現年度	水道事業	営業収益	802,063,612	0	802,063,612	787,291,349	14,772,263	98.2
		給水収益	762,648,389	0	762,648,389	748,764,349	13,884,040	98.2
		その他の営業収益	39,415,223	0	39,415,223	38,527,000	888,223	97.7
		営業外収益	19,444,116	0	19,444,116	19,444,116	0	100.0
		計	821,507,728	0	821,507,728	806,735,465	14,772,263	98.2
	鶴形簡易水道事業	営業収益	6,976,818	0	6,976,818	6,863,843	112,975	98.4
		給水収益	6,961,818	0	6,961,818	6,848,843	112,975	98.4
		その他の営業収益	15,000	0	15,000	15,000	0	100.0
		営業外収益	1,058,137	0	1,058,137	1,058,137	0	100.0
		計	8,034,955	0	8,034,955	7,921,980	112,975	98.6
小計	829,542,683	0	829,542,683	814,657,445	14,885,238	98.2		
繰越分	水道事業	営業収益	30,376,537	267,417	30,109,120	23,128,754	6,980,366	76.8
		給水収益	21,090,037	267,417	20,822,620	13,842,254	6,980,366	66.5
		その他の営業収益	9,286,500	0	9,286,500	9,286,500	0	100.0
		営業外収益	0	0	0	0	0	—
		計	30,376,537	267,417	30,109,120	23,128,754	6,980,366	76.8
	鶴形簡易水道事業	営業収益	210,278	0	210,278	210,278	0	100.0
		給水収益	210,278	0	210,278	210,278	0	100.0
		その他の営業収益	0	0	0	0	—	—
		営業外収益	0	0	0	0	—	—
		計	210,278	0	210,278	210,278	0	100.0
小計	30,586,815	267,417	30,319,398	23,339,032	6,980,366	77.0		
合計	860,129,498	267,417	859,862,081	837,996,477	21,865,604	97.5		

(2) 不納欠損の状況

不納欠損処分額は267,417円で、前年度に比較して311,044円(53.8%)の減であり、いずれも水道事業分である。対象者は58人(法人なし)で、前年度に比較して5人の減となっている。不納欠損の理由は、無届転居が46件、死亡12件となっている。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



10 補てん財源について（税込み）

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）406,221,824円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

（単位：円）

		補てん財源額	補てん額	残額
水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	8,308,468	8,308,468	0
	減債積立金	39,316,868	39,316,868	0
	過年度分損益勘定留保資金	91,924,613	91,924,613	0
	当年度分損益勘定留保資金	302,578,751	263,426,951	39,151,800
	減価償却費	301,155,202		
	資産減耗費	1,423,549		
	当年度未処分利益剰余金	112,754,698	0	112,754,698
	計	554,883,398	402,976,900	151,906,498
鶴形簡易水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	550	550	0
	減債積立金	455,991	455,991	0
	過年度分損益勘定留保資金	0	0	0
	当年度分損益勘定留保資金	2,788,383	2,788,383	0
	減価償却費	2,788,383		
	資産減耗費	0		
	当年度未処分利益剰余金	4,943,753	0	4,943,753
	計	8,188,677	3,244,924	4,943,753
合計	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	8,309,018	8,309,018	0
	減債積立金	39,772,859	39,772,859	0
	過年度分損益勘定留保資金	91,924,613	91,924,613	0
	当年度分損益勘定留保資金	305,367,134	266,215,334	39,151,800
	減価償却費	303,943,585		
	資産減耗費	1,423,549		
	当年度未処分利益剰余金	117,698,451	0	117,698,451
	計	563,072,075	406,221,824	156,850,251

前項の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額563,072,075円に対し、資本的収支の不足額は406,221,824円であり、残り156,850,251円が翌年度へ繰り越されることになる。

11 予算議決事項について（税込み）

予算第5条企業債、第6条一時借入金、第7条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第8条他会計からの補助金、第10条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

（単位：円）

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	144,400,000	144,400,000	0
一 時 借 入 金	170,000,000	0	-170,000,000
職 員 給 与 費	90,888,000	89,853,023	-1,034,977
交 際 費	10,000	0	-10,000
他 会 計 補 助 金	28,246,000	28,244,833	-1,167
た な 卸 資 産	4,692,000	4,003,629	-688,371